

ようこそ 津高入門講座へ!!



2021 (令和3) 年 8 月 17 日 (火)
三重県総合文化センター 大ホール

13:30 受付・開場
14:00~16:00 津高入門講座

参加者へのお願い

① 新型コロナウイルス感染症対策により…

休憩時を含め、なるべく周りの人との間隔を空けてください。

常時、マスクを着用し、手指消毒を徹底してください。

大きな声での会話等は控えてください。

② ホール内では…

座席は自由席です。

飲食は禁止、携帯電話等の電源は切ってください。

③ アンケートにご協力ください

入門講座終了後、出口の回収カゴに入れてください。

簡易エンピツを借りた人は、出口の回収箱に入れてください。

本日の内容

- ◇ オープニング
 歓迎と激励の・・・！？
 開会挨拶

- ◇ 第1部
 現役津高生が熱演！！
 「目が覚めたら……」！？

- ◇ 第2部
 津高の進路指導について
 津高の学習指導について

- ◇ エンディング
 諸連絡

津高等学校校歌

山口誓子詞 信時 潔曲

一、眼を放つ布引は
山をたたみて聳えたち
常に吾等をさとすなり
吾等の思ひ山に似て

二、源遠く出で来たる
古き流れのここに合ひ
又新しき流れなす
吾等の歴史かがやけり

三、学びの道を分けゆきて
山懐に深く入り
流れてしかも易らざる
教を吾等身につけん

四、贅崎に来て沖を見る
かの島山に泳ぎゆき
泳ぎかへせし人ありき
吾等もかくは鍛へなん

現役津高生からのメッセージ

津高生が自らの受験体験や津高での学校生活をホッペで伝えます！

モチベーションが向上する学校

私が津高への進学を決めたきっかけは、中3の夏休みのときに参加したオープンスクールでした。私はその時まで「津高＝ガリ勉で真面目が多そう」（先輩方ごめんなさい・・・）というイメージが強かったのですが、実際は私が想像していたよりも自由度が高くて、先輩方の笑顔がキラキラしていました。そして「私もあんな風な高校生活を送りたい」という思いが強まり、進学を決意しました。

津高校は、私が中3の時に目にした光景と変わらず、生徒も先生も優しく面白いし、部活動も充実しています。学習面も自分の周りにはレベルの高い人たちがたくさんいるので「頑張ろう」と思えて、モチベーションも以前と比べて上がった気がします。

津高には他にも良いところがたくさんあります。「絶対入学するんだ！」というやる気と根性が、受験勉強のモチベーションを上げるし、そういうものを強く持っている人ほど合格に近づくとおもいます。

みなさんがこの学校の校門をくぐってくれるのを楽しみに待っています！！



2年 宮田 葵（吹奏楽部・津市立東観中学校出身）

「なぜ」を追い求める学び

津高で自分らしくあることができるのは、周りが自分の考えを受け入れてくれからなのだと思う。私が今、勝手に精力的に広めている「つながるくん」というキャラクター（中学の元担任が親）も何故か皆、話を聞いてくれて覚えてくれる。探究活動でも、部活の文化祭の企画でも、先生方のご助力により、思うようなものへと近づけることができた。津高の「自主・自律」とは、「自己責任」とか「しっかりせい！」という意味よりは、「自分がしたいと思うことをする」というイメージだと思う。困ったときには必ず助けてくださる方々がいて、大変心強く思える学校である。友人の話借りれば、津高の授業は、何かと「どうしてそうなるのか」を解説する。数学が将来何の役に立つのか考えたことのない学生は稀だろう。もちろん数学は私の役に立つのだが、数学の授業は解の導き方、論理的な考え方を養ってくれる。また、全員参加の探究活動は、何度かしんどく感じたが、実際の研究の厳しさを高校のうちにわずかでも知ることができたのは貴重な経験だった。卒業生の話や探究活動の講演会も、全員参加のものと個人参加のものがあり、両方合わせるとかなりの数になる。この学校だからこそ、これほどたくさんのお話を体験できるのだと幾度か感じた。他に、自由な校風、先生方や津高生の面白さ、イベントがいかに楽しいかまで語らなければ津高を語ったとはとても言えませんが、ここで一区切りさせていただく。中学3年はたくさん悩むこともあろうが、周囲とのつながりを大切に、ぜひ良かったと思える進路をつかんで欲しい。

2年 山村 朋（吹奏楽部・津市立一身田中学校出身）

生徒が自ら考え、動く

私が津高校に入った理由の一つに、「自由度が高い」というものがありました。津高校は勉強や部活動、そして学校行事を行う際に、津高生自身が考え、行動することができる設備と環境が整っています。これによって、余計な干渉を受けずに、生徒が責任を持って活動を自由に行うことができるという利点があります。

また、津高校はボランティア活動や講義に積極的に参加出来る機会が多いことも一つの特色です。こういった活動に取り組むことで、自分自身の興味ある学問や、社会への関心を高めることができます。私自身、この機会を活用しています。勉強・部活共に充実した、また満足のいく環境が手に入る、この「津高」に入学しませんか。

2年 中谷 竜也（軽音学部・津市立久居西中学校出身）

65分授業、ペアワークで理解が深まる

私が思う津高の魅力はなんとといっても生徒一人ひとりが伸び伸びとしているところです。私の中では高校の授業は先生の話の聞いているだけという堅いイメージがありましたが、学校見学会に行ったとき、生徒が生き生きとペアワークをする姿を見て、自分の中のイメージとの違いに驚きました。実際、日々の授業では、周りの人たちとのペアワークで刺激を受けています。このように、津高は自主・自律を重んじ、生徒自身が授業や行事を作りあげています。

また、津高は65分授業と2学期制という制度を採用しています。最初は大変でしたが、今ではゆとりをもって授業を受けられるという点に良さを感じています。

このように、私はとても充実した日々を送っています。みなさんも一緒に津高での高校生活を Enjoy しませんか!?

2年 上島 みなみ（津市立橋北中学校出身）



高校での学びの広さ

私は5、6歳の頃から乗り物が好きで、自分の趣味が飛行機ということもあって、将来は航空機関係の仕事に就きたいと思っています。中学2年生の時に進路について考え始めたときに、先輩方から勉強するのに環境が良いと聞き、津高校を志望するようになりました。実際に入学してからも、周りの友達と切磋琢磨でき、先生方のサポートも厚く、環境の良さという点は先輩の言葉どおりでした。また、部活動では、礼儀や責任など将来に大切なことを学べて、様々な活動の中で高校での学びの広さを実感しています。話は変わりますが、高校に入るとどの教科でも基礎基本が大事になってきます。私も、受験生だった夏休みはもう一度基礎を見直す時期として捉え、夏以降、本格的に過去問演習に取り組むという流れでした。演習を繰り返す中で、わからないこと、不安なことが出てきたときに、基本に戻ることによって理解するというサイクルを大事にしていました。結果、これが本番の時に不安を軽くする一つの要因になったと思います。最後に、これからあと8か月でものすごく力がつくので、良い結果を心に描いて一生懸命頑張ってください。

2年 磯村 子竜（水泳部・三重大学教育学部附属中学校出身）

受験勉強＝「とことん理解」＋「自己肯定」

私が津高校に入学する際に体験した勉強方法やモチベーションの上げ方などは決して良い例とは言えないかもしれませんが、みなさんの参考になれば嬉しいです。受験生のとき、まず勉強面では「何故できないのか」をよく考えました。分からない問題や間違ってしまった問題に対して、疑問を持ち理解できるまで取り組みました。またモチベーション維持の面では、自分のことを「前向きに肯定」するように心がけました。

津高校の学校生活は「自主・自律」が基本理念で、生徒自身が主体的に動き、自分たちがしたいことに自分たちのやり方で取り組むことができます。自分の志望を実現するために必要なものごとをしっかりと見極めて取り組めば、合格に近づくとおもいます。頑張ってください。

2年 辻井 大地（軽音学部・松阪市立中部中学校出身）

熱中と集中、毎日が充実感

私が津高校を受験しようと思ったのは中学3年の10月でした。私は志望校を決めるのが遅かったですが、決めるのは早ければ早いほどいいと思います。しかし、決めるのが遅くなっても焦る必要は無いと思います。

私は津高校に入ってから毎日とても充実感を感じています。理由の一つとしては部活動です。私の部では、生徒の間で話し合っ練習に取り組んでいて、全員が集中して活動を行っています。このように自分が熱中できるものを見つけることが重要だと思います。私の場合は部活動ですが、津高校には探究活動など様々なイベントで熱中できるものを見つける機会が多いので、充実した高校生活が送れると思います。

2年 清水 隆之介（バスケットボール部・津市立みさとの丘学園出身）

受験勉強は自分との対峙

みなさんに伝えたいことは、「僕は津高に入学してよかった」ととても強く思っているということです。中学生の時は、入学してから勉強についていけるのか、新しい友人ができるのかと不安で一杯でしたが実際にはそんな不安は必要ありませんでした。同じように高い志を持ち個性豊かな人たちと学び合える津高校に通うことができ、今はとても充実した生活を送っています。みなさんはこれから受験勉強を本格的に始めていくと思います。思うような成果が出ずに辛くなる時もあると思いますが、自分と向き合いがんばってください。来年みなさんに会えることを楽しみにしています。



1年 牧田 拓哉（ハンドボール部・津市立西橋内中学校出身）

県内トップクラスの進学実績

私は、中学3年生のとき津高校のパンフレットで、津高校では充実した学習をすることができると知り進学を決めました。津高校は県内でもトップクラスの進学実績を持っており、この学校であれば将来の夢を実現させることができます。また、一見勉強ばかりしているように見えますが、部活も充実しています。36種の部活動があり、兼部も可能なため、新たなことに挑戦しやすい環境でもあります。私も、入学以前は、津高校では勉強ばかりしなければならないと思っていましたが、実際はそうではありませんでした。

今、受験生のみなさんは勉強についての不安がたくさんあるかと思います。しかし、今行っている勉強を続けていけば必ず合格できると思います。自分を信じて頑張ってください！！



1年 佐脇 利駿 (バレーボール部・松阪市立嬉野中学校出身)

仲間とともに学びあうこと

僕が伝えたいことは2つあります。1つ目は、僕が中学校3年生の頃の受験勉強です。ここで一番大切だと思うことは、仲間と勉強に励み、メリハリをつけることです。僕は一人では心が折れてしまうことがたくさんありました。でも、仲間のちょっとした一声、いや、仲間がいるだけで乗り越えることができました。だから仲間という存在はかけがえのないものだと思います。メリハリの面では、中学生生活最後の年なので、勉強だけでは後々、後悔してしまうと思うので、全力で楽しむときは楽しみ、勉強するときは勉強するといいと思います。ただ、これは僕はうまくできず、本当に難しいと思うので、できるようにするために心懸けていけたら良いと思います。

2つ目は、津高校に入ってからのことです。思っていたよりもみんな面白く、同じ中学校の子がいなくてもたくさん友達ができました。これを読んでくれた中学生のみなさんも、しっかり将来を考えて、新しい世界を楽しんでください。

1年 二村 悠太 (サッカー部・亀山中部中学校出身)

65分授業の密度とメリハリのある学校生活

津高入門講座に参加し、先輩の話を聞いたり、校内の見学をしたりして、この学校で勉強したいと思い津高校を志望校としました。津高校では65分授業で進度がとても速いと聞いていたので、入学してからついていけるか不安でした。実際、進度は速いけれど、日々の予習、復習、小テストをするリズムができ、ついていけなくなることはありません。65分授業は想像していたよりも面白く、あっという間に感じます。先生方のわかりやすい説明だけでなく班やペア学習も充実しており、授業内で理解を深めることができます。

体育祭やレク大会はとても盛り上がり、日々の勉強を頑張っている生徒のごほうびのようなものです。普段は勉強、部活動に励み、行事のときは思い切り楽しむ！という津高のメリハリのある校風がとても合っていて、入学できてよかったと強く思います。

1年 印南 珠花 (津市立西郊中学校出身)

将来につながる学びのプロセス

私は兄が津高の卒業生で、その自由な校風を知っていたこともあって津高への進学を決めました。津高は実際、学習の進度は速いですが、その分自ら進んで学習しようとする力が身につきます。大変そうに思えるかもしれませんが、勉強ばかりではなく、学校行事なども全力で楽しむことができます。自由な校風、と述べたとおり、津高は生徒の自主性を非常に重んじる学校です。自分たちで作りあげる過程も楽しめるのは津高の醍醐味ではないでしょうか。また、SSH指定を受けていることも特徴の一つです。私は将来、生物について学びたいと思っているのですが、SSC（スーパーサイエンスクラブ）の活動を通して、自分の興味がある分野を深く知ることができます。勉強も部活も行事にも、全力で取り組める学校が津高です！！



SS大学研修の様子

1年 松原 柚（SSC生物部、軽音学部・津市立橋北中学校出身）

自主・自律のもと、一人ひとりが輝く



授業は学び合いの場

私の周りには津高出身のステキな大人が多くいたので、小さい頃から津高に強い憧れを抱いていました。私は、入学前、津高校の生徒たちはみんなとても勉強熱心で打ち解けにくいのではないかと不安を感じていましたが、実際はフレンドリーで話しやすい人ばかりでした。

勉強面では、分からない問題を気軽に聞きあえる雰囲気や、どんな質問にも真剣に答えてくださる先生方のおかげで安心して勉強に取り組めます。また、部活動や行事も盛んに行われ

ており、高校生ならではの「青春」も楽しむことができます。

自主・自律を重んじている学校であるので、一人ひとりが輝けます。高めあえる仲間と共に、高い目標に向かって充実した高校ライフを送りませんか!?

1年 余 明香里（弓道部・津市立西橋内中学校出身）

ON→OFF→ONの切り換えが津高生の真骨頂

私が津高校を志望した理由は津高校に憧れがあったからです。以前、津高校〇〇部と書かれたジャージを着ている津高生を見ました。とてもかっこよく、自分も津高校と書かれたジャージを着たいと思い津高校を志望しました。

入学前の津高校のイメージは、勉強ばかりしてあまり楽しくなさそうだと思っていました。しかし、入学してみると勉強と行事などのメリハリがあり、楽しむときは楽しむ、集中するときは集中するといった感じでとても楽しいです。ただ、部活が終わって家へ帰るととても眠いので、睡魔と戦いながら勉強しなければならないのが大変です。私の今の目標は、部活と勉強を両立させて次のテストまで計画的に過ごしていくことです。

1年 遠山 さくら (ハンドボール部・津市立南が丘中学校出身)

尊敬できる人と共に成長する

私は幼い時から、祖父母の母校である津高校に憧れを抱いていたので受験を決めました。入学以前、津高に対して持っていたイメージは、勉強ができるしっかりした人の多い集団というものだったので、自分がなじめるか少し不安もありました。しかし、入学してみると、津高校は意外と自由な雰囲気もあり、楽しむときは全力で楽しむので、青春を謳歌している人が多くて驚きました。進学校の堅い雰囲気はあまり見られず、学生生活を楽しむことができるのは津高校の良さだと思います。

津高校について私が最も好きなことは、尊敬できる友人が多くできることです。素晴らしい友人と過ごす中で自分の成長を実感しています。中学生のみなさんも、尊敬できる人と共に成長できる津高校で高校生活を楽しみませんか？



Open School

津高 学校見学会

日時：8月26日(木)・27日(金) 13:50～
場所：津高校各教室・グラウンド
対象：中学3年生の皆さん
内容：①授業見学

～津高校の普段のままの授業を2講座分見学することができます。～

②クラブ・校内見学

～放課後の活動の様子や校舎・グラウンド・体育館・武道場を自由に
見学することができます。～



本日、追加申し込みが可能です
出口(受付)で申込用紙に記入して提出してください。

津高

文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）研究指定校

三重県立 津高等学校

〒514-0042 三重県津市新町3丁目1-1
TEL 059-228-0256 FAX 059-228-0259